岩手県電気工事業工業組合

70年のあゆみ

令和元年 10 月 25 日

岩手県電気工事業工業組合

連携・連帯・団結、

今こそ英知と力の結集を！

ご　挨　拶

岩手県電気工事業工業組合
理事長　平　野　　喜　嗣

この度、岩手県電気工事業工業組合が、組合創立70周年を迎えるに当たり一言ご挨拶を申し上げます。

平素より皆様方には、電気工事業の振興、発展、更には、当組合に対し格別のご支援とご高配を賜り、衷心より厚く御礼申し上げます。

本日、ご来賓の皆様を始め関係諸団体の皆様、組合員の皆様と共に式典を開催できますことに、心より感謝申し上げます。

さて、当組合は、昭和24年10月、終戦後の混乱の中から、電気工事業を営む有志46名が、当組合の前身である岩手県電気工事工業協同組合を創立したことに始まります。

創立以来、これまで組合活動にご指導ご協力を頂きました関係機関、団体並びにご尽力賜りました多くの諸先輩方のご労苦に深く敬意を表する次第であります。

思い起こせば10年前、岩手県電気工事業工業組合創立60周年記念式典を、多くの方々に参加頂き開催しましたが、その２年後、全く予想だにしない東日本大震災に見舞われました。

多くの組合員が被災し、自宅や事務所の流失、損壊等甚大な被害を受けました。

地震発生の翌日、我々組合は、直ちに災害対策本部を設置し、現地の状況が把握できない中、乏しい情報を辿りながら、２日目からは被災地へ駆けつけ、緊急性が高いと思われる生活必需品や食品を届けるなど現地への支援を続けました。

県内外の支援も始まりましたが、全日電工連の組織的支援が始動し、全国の電工組からも被災地の復旧・支援活動が全国展開されました。

全国からの途切れることの無い支援の下、想像を絶する困難の中、組合員は、青年部と一致団結して復旧活動に昼夜を問わず当たり、事業の再開にこぎつけることが出来ました。

今こうして皆様と共に70周年記念式典を迎える事ができました事は、誠に感慨深いものがあります。改めて全日電工連・全国の電工組をはじめ皆様に心から感謝申し上げる次第であります。

電気は、地域住民の生活から経済活動に至るまでの現代社会を支える重要なライフラインであり、電気により人々の暮らしの隅々に毎日の豊かな生活を提供しております。

一方、電気工事に携わる私達は、電気工事のスペシャリストとして確かな自信のもと「電気を安心安全に」届けるという使命感を自負し、更なる技術の向上と研鑽に努めて参る覚悟です。

創立70周年を節目とし、来る80周年に向けて、いま、組合発展のために尽力された多くの先達のご労苦に感謝の念と敬意を表しますとともに、私ども組合員は皆、より優れた技術力を培い、一致団結し、英知を結集して今後一層の業界の発展を図り、多様化する社会的要請に応えられるよう精進して参る所存でございます。

終わりに、組合創立以来ご支援を賜りました諸官庁はじめ業界、諸団体、各位に対し心から感謝申し上げ、従前にも増して一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝をご祈念申し上げご挨拶と致します。

祝　　辞

全日本電気工事業工業組合連合会
会　長　米　沢　　寛

岩手県電気工事業工業組合におかれましては、戦後の混乱さめやらぬ昭和24年10月 県内の電気工事業者の結束を図るとともに、業界の健全な発展と経済活動の機会を確保することを目的に、中小電気工事業者の相互扶助の理念のもと協同組合として創立され、昭和41年４月現在の工業組合に組織変更されました。 創立以来 厳しく変化に富んだ時代を乗り越えられ、この度創立70周年という記念すべき節目を迎えられました。謹んで関係の皆様に敬意とお祝いを申し上げます。

この70年の間 時代は変わっても一貫して守り抜かれたのは、品質の安定した電気を安全・安心に地域社会のお客様に届けることであったと思います。

特に平成23年３月東日本大震災により県内沿岸部の組合員はじめ多くの被災者に対し、いち早く復旧復興支援に乗り出し改めて電気工事組合の結束力を社会に示すなど存在価値の高揚となったことは全国組合員の誇りとなっています。

この歴史的未曽有の大震災を起因とする大津波により、甚大な被害を被った方々を奮い立たせた防犯灯の設置に取り組まれる等、組織を挙げた活動は行政からも高い評価を頂いたとお聞きしています。また、復興のシンボルともなった奇跡の一本松のライトアップ事業は全日電工連第1回優良事業工組表彰制度において銀賞の栄誉に輝いたのでした。さらには、業界の担い手育成事業として既に10年有余継続されている工業高等学校への支援事業等社会貢献に取り組まれており敬意を表すところです。

これもひとえに 平野理事長はじめ歴代の役員各位、所属組合員様方の並々ならぬご熱意とご努力の賜物であり敬意を表するところでございます

さて、発送配電の法的分離も来年４月に控え、我々にとって大きな変革期にありますが、いつの時代においても 快適で豊かな国民生活と産業基盤を支える電気という社会インフラを担っている誇りと自負を持ち、電気のプロとしての私たちに求められる役割に変わりはないと思っております。

社会全体が多様化しつつあるなか、お客様のニーズも多岐にわたり これまでにも増してスピード感を持って質の高い提案のできる「信頼して任せていただける街の電気ドクター」として、お客さま目線で組合員各位が自ら動く努力が必要と思います。

「温故知新」という名言があります。創立70周年は次なる百年に向けて新たなる決意のもとに歩み始める第一歩であると考えます。周年は先達への感謝と我々の今後のあるべき姿を考える節目ではないかと思っております。

ＡＩやＩＯＴ・ロボットをはじめとする超スマート社会のカタチが見えつつある現在、今後とも電気のプロとして技術革新に応える技術の向上、ならびに地域社会に安全・安心を届ける業務に専念しつつ、社会の期待に応えていただきますようお願いいたします。

最後になりましたが貴組合・組合員皆様方の一層のご活躍と新たなご努力を重ねられることで次の一歩に向けての力強い歩みとともに益々のご発展を念じ、お祝いの言葉といたします。

岩手県電気工事業工業組合60年のあゆみ

（昭和24年～平成21年）

年 月 日	事　　項	組合員数
昭和 24. 7. 1	（中小企業等協同組合法施行）	
24. 10. 5	岩手県電気工事業協同組合設立登記 事務所　盛岡市本町 284／区域　岩手県一円 代表理事　景山力多郎 事業　1. 共同購入、共同販売　2. 事業資金の貸付　3. 団体協約の締結　4. 経営及び技術の向上のための教育と情報の提供　5. 福祉向上のための事業	46
33. 4. 1	中小企業団体の組織に関する法律の施行）	
35. 5. 24	（チリ地震津波被害）	
35. 10. 1	（電気工事士法施行）	
39. 10. 10	（東京オリンピック開催）	
41. 4. 9	事業協同組合の組織を変更して岩手県電気工事業工業組合となる 事務所　盛岡市紺屋町 2-26 代表理事　伊藤徳太郎	67
41. 5. 25	代表理事　平野正喜就任	99
45. 3. 15	（大阪万博開催）	
45. 9. 7	（岩手国体開催）	
45. 11. 25	（電気工事業の適正化に関する法律施行）	
46. 4. 30	機関紙「岩手の電気工事」発刊	
46. 7. 10	次の地域に支部を設置し、これを登記 盛岡市、花巻市、北上市、水沢市、一関市、大船渡市、遠野市、釜石市、宮古市、久慈市、二戸市の 11 支部	
47. 8. 14	名称を岩手県電気工事業工業組合と変更及び総会を総代会に改め、総代の定数を 60 名とする件、岩手県知事より認可	
50. 1. 1	事務所を盛岡市上の橋町 1-50 へ移転	
50. 3. 31		335
51. 6. 24	総代の定数 60 名を 70 名に変更、知事より許可	
51. 7. 10	建設大臣より「貴組合は種々の困難を克服して建設事業に協力され公共の福祉の増進に多大の貢献をされた」として表彰を受ける	
51. 8. 16	定款変更「一般用電気工作物の保守管理業務の共同受託」を行うことについて岩手県知事より認可	
52. 1. 17	一般用電気工作物の保守管理業務規程の承認を仙台通産局長より受ける	
52. 3. 1	一般用電気工作物の保守管理業務の共同受託事業開始	
52. 3. 31		350

年 月 日	事　　項	組合員数
昭和 52. 7. 22	第5回中小企業団体岩手県大会において、岩手県中小企業団体中央会長から「貴組合は組織運営ともに極めて優良であり業界の改善発達と組合制度の健全な発展に寄与した功績はまことに顕著である」として表彰を受けた	
52. 11. 9	東北自動車道開通（一関ＩＣ～盛岡南ＩＣ）	
54. 7. 20		395
54. 8. 30	総代の定数70名を73名に変更	
54. 10. 11	組合創立30周年記念式典・祝賀会挙行	
56. 8. 1	総代の定数73名を90名に変更	
57. 5. 31	事務所を岩手県建設会館（盛岡市松尾町17-9）へ移転	
57. 6. 23	東北新幹線開業	
57. 7. 1	（東北七県電気工事業厚生年金基金設立）	
58. 5. 21	代表理事　工藤清就任	
58. 10. 20	東北自動車道（安代ＩＣ～鹿角八幡平ＩＣ）	
62. 6. 24	総代の定数90名を70名に変更	
62. 10. 22	第5回電気工事業全国大会（仙台）東北で初めて開催、役員・支部長等58人参加	
平成 元. 1～	第一種電気工事士資格講習会開始	
3. 9. 1	（全日本電気工事業国民年金基金（職能型）発足）	
4. 5. 22	岩手県電気工事業工業組合青年部設立総会・記念式典挙行	
5. 5. 20	代表理事　高橋忠夫就任	
5. 5. 21	平野正喜元理事長　勲五等雙光旭日章叙勲受章	
5. 10. 21	第一種電気工事士定期講習開始	
5. 11. 12	工藤清元理事長勲五等雙光旭日章叙勲受章	
6. 12. 28	（建設業法施行令改正により、電気工事業は、指定建設業に指定）	
8. 7. 4	株式会社エレックス設立記念祝賀会	
8. 7～9. 3	通産省の補助事業である労働力確保推進事業実施	
9. 2. 13	組合シンボルマーク・愛称決まる	
9. 5～10. 5	第一種人材確保推進事業（労働省）実施（3ヶ年継続事業・1年目）	
9. 11. 1	全日本電気工事業国民年金基金岩手当初加入目標達成	
10. 5～11. 3	第一種人材確保推進事業（労働省）実施（2年目）	
10. 10. 10	後藤時男元副理事長　勲五等瑞宝章叙勲受章	
11. 3. 31		480
11. 5～12. 3	第一種人材確保推進事業（労働省）実施（3年目）	
11. 10. 8	組合創立50周年記念式典・祝賀会挙行	
11. 10. 27	第16回電気工事業全国大会（仙台）開催、役員・支部長等30人参加	
12. 3. 31		478

年 月 日	事　　項	組合員数
平成 12.　5～ 13.　3	第二種人材確保推進事業（労働省）実施（2ヶ年継続事業・1年目）	
12.　6～ 13.　3	活路開拓調査・実現化事業実施（組合情報ネットワークシステムの構築）	
12.　6．14	定款変更「中小企業団体の組織に関する法律」の一部改正に伴う所要の改正並びに新規事業「一般用電気工作物の調査業務事業」、「組合員の行う小規模高圧需要設備保守管理業務の共同受託」の追加、役員の任期に関する規定の整備について岩手県知事より認可	
13.　3．12	一般用電気工作物調査業務の指定調査機関として経済産業大臣より指定を受ける	
13.　3．30	岩手電気安全サービス開所	
13.　3．31		467
13.　4．1	一般用電気工作物調査業務開始（調査員3名体制）	
13.　5～14.　3	第二種人材確保推進事業（労働省）実施（2年目）	
13.　6．28	定款変更　組合員の資格に関し、商工組合の模範定款変更に倣い、条文を変更並びに加入者の出資払込み、脱退者の持分の払いもどし、資本準備金に関し、組合財政基盤保全のため、持ち分払いもどし方法を全額から出資限度に、併せて関係条文変更について岩手県知事より認可	
13.　7．25	代表理事　高橋溥芳就任	
13.　8．9	髙橋忠夫元理事長　従六位勲五等双光旭日章叙勲受章	
13.　10～12	銅資源リサイクル事業実施	
13.　10.　26	岩手県電気工事業工業組合青年部創立10周年記念大会挙行	
14.　3．4	銅資源リサイクル事業による車椅子寄贈（寄贈先 県内11市町村社会福祉協議会）	
14.　3．31		456
14.　4．1	一般用電気工作物調査業務体制の変更（調査員4名体制）	
14.　11.　3	金澤宏治元理事　黄綬褒章受章	
15.　3．31		448
15.　5．23	代表理事　平野喜嗣就任	
15.　8．5	定款変更　事業拡大に伴い、副理事長1人から3人体制に変更することについて岩手県知事より認可	
16.　3．12	一般用電気工作物調査業務の登録指定機関として経済産業大臣より登録を受ける	
16.　3．31		430
16.　7．	組合・協会共同運用グループウエア「サイボウズ」の立ち上げ	
17.　3．31		413

年 月 日	事　　項	組合員数
平成 17.　4．1	一般用電気工作物調査業務エリア拡大（調査員 5 名体制）	
17.　9．29	事務所を現在の岩手電気工事会館（盛岡市下太田榊 48-44）へ移転	
18.　3．31		393
18.　5．	4 委員会設置（組合・グループウエア管理委員会、保守管理業務推進委員会、調査業務推進委員会、引込線施行体制検討委員会）	
19.　3．31		375
19.　4．1	一般用電気工作物調査業務拡大（調査員 7 名体制）	
19.　4．9	岩手電気安全サービス花北・水沢支所開所	
19.　7．20	定款変更 「会社法の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律」による組合法律の改正に伴う定款参考例等に基づき改正することについて岩手県知事より認可	
19.　10.　26	第 59 回中小企業団体全国大会において、全国中小企業団体中央会長より「貴組合は組合員が強固な団結のもとに適切な組合運営に努力されその業績は他の模範である」として表彰を受けた	
20.　3．31		365
20.　4．29	遠野新高電気㈱ 井手正博氏 瑞宝単光章叙勲（二類）受章	
20.　7．3	定款改正　総代数の見直し結果に伴う総代数の減及び「会社法の施行に伴う関係法律の整備などに関する法律」による組合法などの改正に伴う定款参考例に基づき関係条項を改正することについて岩手県知事より認可 総代の定数 70 名を 55 名に変更	
20.　8～ 21.　5	組合創立 60 周年記念プレイベント「銅資源等回収による工業高校支援事業」の実施：電業協会との共同事業（県内 8 工業高校へ実習用資材の寄贈）	
20.　10.　10	組合創立 60 周年記念プレイベント「設備業ソリューションフェア＆セミナー 2008 in 岩手」の開催：電業協会との共同事業	
20.　10.　23	（全日本電気工事業工業組合連合会 50 周年）	
20.　11.　3	㈱電友社 鎌田孝司氏 瑞宝単光章叙勲（二類）受章	
21.　3．31		353
21.　4．1	一般用電気工作物調査業務拡大（調査員 8 名体制）	
21.　6．26	組合創立 60 周年記念イベント「電気工事業向け IT フェア 2009 in 岩手＆セミナー」の開催：電業協会との共同事業	
21.　9．11	組合創立 60 周年記念式典・祝賀会挙行	
21.　10.　22	第 26 回電気工事業全国大会（新潟）開催、役員・支部長等 32 人参加	
22.　2．25	岩手県発注工事に係る独占禁止法違反に基づく処分の寛大な取扱いについて岩手県知事へ要望	
22.　3．31		337

岩手県電気工事業工業組合10年のあゆみ

（平成22年～令和元年）

年 月 日	事　　項	組合員数
平成 23.　2．14	電気式自動車普及にかかる充電設備工事対応について岩手県知事へ要望	
23.　3．11	東日本大震災発生	
23.　3．31		318
23.　4～	東日本大震災　支援活動	
23.　4．1	岩手電気安全サービス二戸・久慈支所開所 業務区域拡大（調査員11名体制）	
23.　6．20	定款変更　組織拡大に伴う業務処理の適正円滑化を図るとともに法律改正等に伴い所要の整備を行うことについて岩手県知事より認可	
23.　11.　3	遠野新高電気㈱ 佐々木 力氏 瑞宝単光章叙勲（二類）受章	
23.　11.　22	岩手電気安全サービス発足10周年記念式典開催	
24.　3．31		311
24.　11.　3	平野喜嗣理事長、相光電気㈱奥田 誠氏　黄綬褒章受章	
24.　11.　9	岩手県電気工事業工業組合青年部創立20周年記念式典・祝賀会開催	
25.　3．31		306
25.　4．29	㈱興和電設 斉藤修一氏瑞宝単光章叙勲（二類）受章	
25.　10.　22	第一種電気工事士有資格者確保のための実務経験年数短縮について岩手県知事へ要望	
25.　11.　3	新高電気㈱ 瀬川 康氏 瑞宝単光章叙勲（二類）受章	
25.　11.　14	第１回全日電工連優良事業工組表彰 「あかりを灯そう事業」青年部銀賞受賞	
26.　3．31		302
26.　4．1	一般用電気工作物調査業務拡大（調査員12名体制）	
26.　11.　3	北田文人副理事長　黄綬褒章受章 北上電工㈱ 小國孝喜氏 瑞宝単光章叙勲（二類）受章	
27.　3．31		296
27.　7	全国技能競技大会検討委員会設置	
27.　11.　12	第２回全日電工連優良事業工組表彰「実習用資材寄贈支援事業」銅賞受賞	
27.　12～	第一種電気工事士資格取得のため受講料の一部補助支援 電気工事業界理解促進交流事業として「高校生ものづくりコンテスト岩手県大会」開催時に「岩手県電気工事業工事業組合による意見交換会・交流会」を実施	
28.　3．31		294
28.　4	電力小売自由化	

年 月 日	事　　項	組合員数
平成 28. 4. 29	三陸電業㈱ 中村 巧氏 瑞宝単光章叙勲（二類）受章	
28. 8. 5	電気工事業界における若手技術者の確保と育成課題その対応策について軽石県議会議員へ要望	
28. 8. 26	工業高校の電気科入学生の定員確保の観点から工業高校の定員割れの現状と第一種電気工事士の確保策について岩手県知事へ要望	
28. 10. 1	岩手国体開催	
28. 11. 3	東北電設工業㈱ 後藤 功氏　黄綬褒章受章 馬渕川電気㈱ 八森幸雄氏 瑞宝単光章叙勲（二類）受章	
29. 2. 1	岩手電気安全サービスホームページ開設	
29. 3. 31		286
29. 4. 29	岩手電工㈱ 内舘実知正氏 瑞宝単光章叙勲（二類）受章	
29. 8. 4	電気工事業界における雇用・人材確保と育成に係る支援について軽石県議会議員へ要望	
29. 10. 31	地域中小企業の人材確保・育成に対する支援、復興工事予定価格（発注額）の引上げ、公共事業費の確保及び発注の平準化について岩手県知事へ要望	
29. 12. 21	地元高校生が卒業後の地元就職が図られるよう支援を岩手県教育長へ要望	
30. 3. 28	「県立工業高校電気系学科への進学率を高める対策を講じること」、「県内工業高校卒業生が地元企業に就職し、定着する事ができるよう県においても支援策を講じること」、「ものづくりを志す工業高校生に対する表彰制度を創設すること」について軽石県議会議員へ要望	
30. 3. 31		286
30. 7. 1	東北七県電気工事業企業年金基金設立（厚生年金基金解散）	
30. 9. 8	第1回電気工事技能競技東北大会出場 日興電気㈱ 佐々木 隼氏銀賞受賞	
30. 11. 3	東海電業㈱ 佐々木 勝氏　黄綬褒章受章	
30. 11. 30	第3回電気工事技能競技全国大会出場 日興電気㈱ 佐々木 隼氏銀賞受賞	
31. 3. 31		281
31. 4. 30	天皇陛下譲位（平成最後の日）	
1. 5. 1	新天皇即位(新元号「令和」)	
1. 5. 31	令和元年度（第47回）通常総代会青年部旗授与	
1. 9. 25	（ラグビーワールドカップ2019日本大会釜石）	
1. 10. 1	現在の組合員数280人、出資口数280口である	
1. 10. 17	（全日本電気工事業工業組合連合会60周年）	

≪組織・事業活動概要≫

当組合は、現在11支部と青年部からなり、電気工事業の振興や組合員の経営力向上を目指し、全日電工連、東北七県連と連携を密に図り、組織基盤の強化、物品等の斡旋、後継者育成支援等の各種事業を展開しております。

平成23年３月11日、未曾有の東日本大震災により甚大な被害を受けましたが、全日電工連の組織的支援等と合わせ、当組合を挙げて被災地域の完全復興に向けて取り組んで参りました。

また、一般社団法人岩手県電業協会と共同で人材確保のため県内工業系高校等への実習用資材の寄贈支援や経営効率化に向けたIT化支援事業を毎年実施しております。

一方、就業者の高齢化、少子化による若年入職者・労働者の減少等により、人材不足が課題となっておりますことから、「高校生との意見交換会」や「インターンシップ事業」等を通じて当業界の理解の促進が図られるよう努めております。

これからも地域に貢献する「街の電気ドクター」として、電気を「安全・安心」にお届けするという強い使命感を持ち、県民の皆様の期待と信頼に応えられるよう努めて参ります。

≪震災からの復興≫

平成23年３月 震災直後の被災した釜石市街

復興が着々進む釜石市中心部

≪東日本大震災被災地復興支援「あかりを灯そう」事業≫

被災した暗闇の中に灯された住民の安全・安心確保のため防犯灯設置（宮古市）

大震災の記憶を後世に語り継ぐため設置された「奇跡の一本松」ライトアップ（陸前高田市）

≪第１回全日電工連優良事業表彰銀賞受賞≫

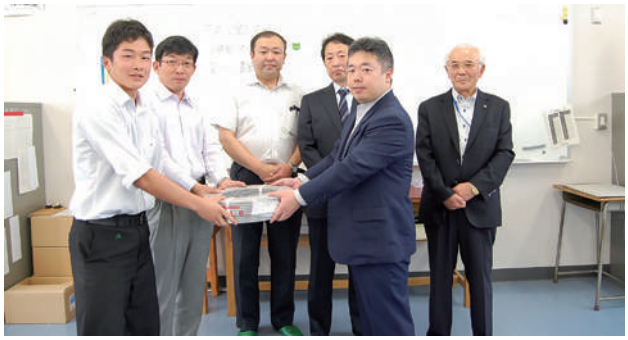
菅野卓訓　直前部長、川崎 長 青年部長による優良事業プレゼンテーション

第30回電気工事業全国大会において全日電工連米沢会長から銀賞を授与される川崎 長 青年部長

「あかりを灯そう」事業の青年部参加メンバー

≪第11回実習用資材（銅電線及び配線器具等）寄贈支援事業≫

平成20年から続く「高校等への実習用資材の寄贈支援事業」



組合 舘口政悦副理事長、久慈支部 神成隆一支部長、塚根康成 二戸支部長、協会 松田博幸支部長から岩手県立福岡工業高校 池田明宏校長、生徒代表２年 下堀幸星さんに贈呈

組合 照井寛幸副理事長、協会花巻支部 高橋徳好支部長から黒沢尻工業高校 三田章徳校長と生徒代表２年 志田涼介さんに贈呈

≪第２回全日電工連優良事業表彰銅賞受賞≫

第31回電気工事業全国大会において全日電工連米沢会長から銅賞を授与される北田文人副理事長

≪高校生ものづくりコンテスト岩手県大会意見交換会≫

ものづくりコンテスト参加者による意見交換会

意見交換会に参加した先生・生徒・平野理事長・照井副理事長・佐々木専務理事・組合青年部員

≪高校生ものづくりコンテスト岩手県大会優勝校副賞授与≫

平野理事長からものづくりコンテスト実行委員長の片岡順一電気専門部長に優勝校への目録が授与

ものづくりコンテスト優勝県立福岡工業高校 藤原幸成さんに東北大会強化に向け、駒木勲二戸支部長から電線資材等贈呈

≪第１回電気工事技能競技東北大会準優勝≫

第1回電気工事技能競技東北大会準優勝を獲得
佐々木 隼 選手

東北七県連小林 功 理事長から表彰状を授与
佐々木 隼 選手と日興電気㈱ 岩舘 光 専務

≪第３回電気工事技能競技全国大会銀賞受賞≫

技能競技課題に集中して取り組む佐々木 隼 選手

東京両国国技館で各電工組出場選手と頂上目指し技術・技能を競う

一般の部銀賞に輝いた佐々木 隼 選手（左から２番目）

競技終了後、技術指導に当たった県立黒沢尻工業高校 加藤 正 先生、日興電気㈱ 岩舘正明社長、県立福岡工業高校 鳥居郁夫先生、県工組 平野理事長、照井副理事長

佐々木 隼 選手の銀賞受賞を支えた
青年部技能・技術委員会メンバー

≪第3回電気工事技能競技全国大会銀賞受賞知事表敬≫

達増知事に銀賞受賞を報告する日興電気㈱ 岩舘正明社長

達増知事を囲んで佐々木 隼 選手、岩舘正明社長
岩舘 光 専務

≪第３回電気工事技能競技全国大会銀賞受賞報告会・保護者懇談会≫

佐々木 隼 選手の母校黒沢尻工業高校での銀賞受賞報告会

地元電気工事業者との保護者進路懇談会

後輩に配管曲げを指導する佐々木 隼 選手

≪東北電力関係施設視察研修≫

福島県南相馬市 原町火力発電所視察

≪組合青年部第28回通常総会≫

令和元年度　第28回青年部通常総会

青年部通常総会出席者

≪令和元年度　第47回通常総代会≫

≪令和元年度　第１回役員・支部長事務職員合同会議≫

平野理事長から高橋青年部長に青年部旗の授与

≪令和元年度　第３回三役会≫

≪平成30年度　第４回理事会≫（大船渡移動理事会）

写真協力：日刊岩手建設工業新聞社

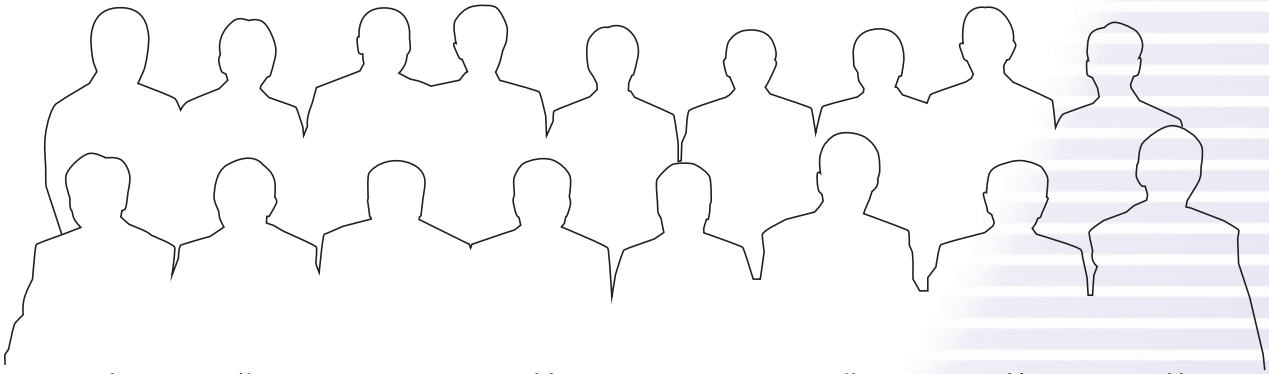
岩手県電気工事業工業組合歴代役員

（平成22年～令和元年）

	理　事　・　顧　問	監　事
平成22年	平野喜嗣（理事長）(盛岡)　北田文人（副理事長）(一関)　松田博明（副理事長）(二戸) 村山美代二（副理事長）(宮古) 佐々木　徹（専務理事）(盛岡) 瀬川忠昭（花巻） 照井寛幸（北上）　菅野嘉雄（水沢）　佐藤正善（大船渡）　大久保賢一（遠野） 佐々木茂延（釜石）　澤川　靖（久慈）　川村武史（青年部）　工藤　清（顧問）	高宮良作（盛岡） 菅原長與（一関）
平成23年	平野喜嗣（理事長）(盛岡)　北田文人（副理事長）(一関)　松田博明（副理事長）(二戸) 村山美代二（副理事長）(宮古) 佐々木　徹（専務理事）(盛岡) 小野寺　満（常務理事） 瀬川忠昭（花巻）　照井寛幸（北上）　菅野嘉雄（水沢）　佐藤正善（大船渡） 菊池克仁（遠野）　佐野正一（釜石）　澤川　靖（久慈）　菅野卓訓（青年部） 齊藤幸男（組合）	高宮良作（盛岡） 千葉　仁（一関）
平成24年	平野喜嗣（理事長）(盛岡)　北田文人（副理事長）(一関)　松田博明（副理事長）(二戸) 村山美代二（副理事長）(宮古) 佐々木　徹（専務理事）(盛岡) 瀬川忠昭（花巻） 照井寛幸（北上）菅野嘉雄（水沢）佐藤正善（大船渡）菊池克仁（遠野）佐野正一（釜石） 澤川　靖（久慈）　菅野卓訓（青年部）　小野寺　満（組合）　齊藤幸男（組合）	高宮良作（盛岡） 千葉　仁（一関）
平成25・26年	平野喜嗣（理事長）(盛岡)　北田文人（副理事長）(一関)　松田博明（副理事長）(二戸) 村山利一（副理事長）(宮古)　佐々木　徹（専務理事）(盛岡) 瀬川忠昭（花巻） 照井寛幸（北上）斉藤宏年（水沢）小林憲治（大船渡）細川忠悦（遠野）佐野正一（釜石） 澤川　靖（久慈）　川崎　長（青年部）　小野寺　満（組合）　齊藤幸男（組合） 村山美代二（顧問）(宮古)	石羽根正重（盛岡） 千葉　仁（一関）
平成27年	平野喜嗣（理事長）(盛岡)　北田文人（副理事長）(一関)　松田博明（副理事長）(二戸) 照井寛幸（副理事長）(北上)　佐々木　徹（専務理事）(盛岡) 瀬川忠昭（花巻） 斉藤宏年（水沢）石川要司（大船渡）細川忠悦（遠野）設楽欣也（釜石）刈屋清次（宮古） 神成隆一（久慈）　小笠原哲也（青年部）　齊藤幸男（組合）　村山美代二（顧問）(宮古)	舘澤信義（盛岡） 千葉　仁（一関）
平成28年	平野喜嗣（理事長）(盛岡)　北田文人（副理事長）(一関)　照井寛幸（副理事長）(北上) 舘口政悦（副理事長）(二戸)　佐々木　徹（専務理事）(盛岡) 瀬川忠昭（花巻） 斉藤宏年（水沢）石川要司（大船渡）細川忠悦（遠野）設楽欣也（釜石）刈屋清次（宮古） 神成隆一（久慈）　小笠原哲也（青年部）　齊藤幸男（組合）　村山美代二（顧問）(宮古)	舘澤信義（盛岡） 千葉　仁（一関）
平成29・30年	平野喜嗣（理事長）(盛岡)　北田文人（副理事長）(一関)　照井寛幸（副理事長）(北上) 舘口政悦（副理事長）(二戸)　佐々木　徹（専務理事）(盛岡) 阿部勝俊（花巻） 齋藤宏俊（水沢）伊藤壽太郎（大船渡）井手　修（遠野）設楽欣也（釜石）刈屋清次（宮古） 神成隆一（久慈）　高橋　誠（青年部）　齊藤幸男（組合）　村山美代二（顧問）(宮古)	舘澤信義（盛岡） 千葉　仁（一関）
令和元年	平野喜嗣（理事長）(盛岡)　北田文人（副理事長）(一関)　照井寛幸（副理事長）(北上) 舘口政悦（副理事長）(二戸)　佐々木　徹（専務理事）(盛岡) 阿部勝俊（花巻） 小野寺昌之（水沢）伊藤壽太郎（大船渡）菊池克仁（遠野）鈴木　久（釜石）佐々木　勝（宮古） 渡辺彦之（久慈）　平野喜英（青年部）　齊藤幸男（組合）　村山美代二（顧問）(宮古)	吉野　淳（盛岡） 千葉　仁（一関）

≪現職役員≫

平野　喜英　理事
佐々木　勝　理事
伊藤　壽太郎　理事
齊藤　幸男　理事
小野寺　昌之　理事
渡辺　彦之　理事
阿部　勝俊　理事
菊池　克仁　理事
吉野　淳　監事



鈴木　久　理事
舘口　政悦　副理事長
北田　文人　副理事長
平野　喜嗣　理事長
村山　美代二　顧問
照井　寛幸　副理事長
佐々木　徹　専務理事
千葉　仁　監事

岩手県電気工事業工業組合　本部・支部

本部・支部	支部長	職　員
盛岡支部	平野　嘉男	林　健司　小野　カオリ
花巻支部	菅野　卓訓	鎌田　久美子　戸来　百合子
北上支部	菅原　浩一	照井　幸枝
水沢支部	斉藤　宏年	高橋　奈保子　田中　聖子
一関支部	佐藤　博行	柳橋　友美
大船渡支部	伊藤　敬	佐藤　美由紀
遠野支部	岩間　信輝	菅野　明美
釜石支部	佐野　正一	湊　身江子
宮古支部	村山　利一	山根　一美
久慈支部	神成　隆一	吉田　律子
二戸支部	塚根　康成	卯花　和恵
本　部	事務局	川村　政司（事務局長）　松村　幹子（主任）　村上　麻希
	岩手電気安全サービス　盛岡本部	齊藤　幸男（管理統括）　高橋　正美（所長）　右京　利和（主任） 松井　伸吾（主任）　岩崎　親啓　安西　崇史　西舘　政範
	岩手電気安全サービス　花北・水沢支所	佐々木　良典（主任）　伊藤　真一　佐藤　好伴
	岩手電気安全サービス　二戸・久慈支所	中渡　健太（主任）　畑田　修

組　合　沿　革

1．名　　称　　岩手県電気工事業工業組合

2．所　在　地　　盛岡市下太田榊 48 番地 44

3．理　事　長　　平　野　喜　嗣

4．設　　立　　岩手県電気工事工業協同組合　　昭和 24 年 10 月 5 日

5．組 織 変 更

(1) 協同組合から工業組合に組織変更
　昭和 41 年 4 月 9 日（「中小企業団体等組織に関する法律」に基づく）

(2) 調査業務受託　①平成 13 年 4 月 1 日　岩手電気安全サービス本部開設（盛岡市）
　②平成 19 年 4 月 1 日　岩手電気安全サービス花北･水沢支所開設（北上市）
　③平成 23 年 4 月 1 日　岩手電気安全サービス二戸･久慈支所開設（一戸町）

6．組 合 員 数　　設立時　46 名　　現　在　281 名（平成 31 年 3 月 31 日）

7．支　部　数　　11 支部（盛岡・花巻・北上・水沢・一関・大船渡・遠野・釜石・宮古・久慈・二戸）

8．職員体制など　　事務局職員　3 名　　岩手電気安全サービス（調査業務）　12 名
　盛岡本部　　7 名
　花北・水沢支所　　3 名
　二戸・久慈支所　　2 名

70th

IDK

岩手県電気工事業工業組合

Anniversary